



## 2015年度以降の着陸料割引制度について (関西国際空港)

この度、「2015年度以降の着陸料割引制度」について策定しましたので、お知らせします。

詳細につきましては、別添資料をご覧ください。





# 2015年度以降の着陸料割引制度について (関西国際空港)

---

2015年3月24日

新関西国際空港株式会社



# 1. 2015年度以降の着陸料割引制度について

## ○ これまでの料金戦略（2012～2014年度）

マーケット重視の価格設定により空港関連コストを引下げること、航空会社の拠点化・需要拡大を促進

- 国際線着陸料引下げ
- 増量割引・深夜早朝割引の拡充
- バゲッジ・ハンドリング・システム（BHS）料金の引き下げ

## ○ 効果

その効果もあって、LCCをはじめとする新規就航や増便、アジア諸国を中心とした旺盛な訪日外国人需要等により下支えされ、関西国際空港の2014年度における発着回数は過去最高の約**14.5万回**、旅客数は14年ぶりに**1,900万人**を超える見込み。

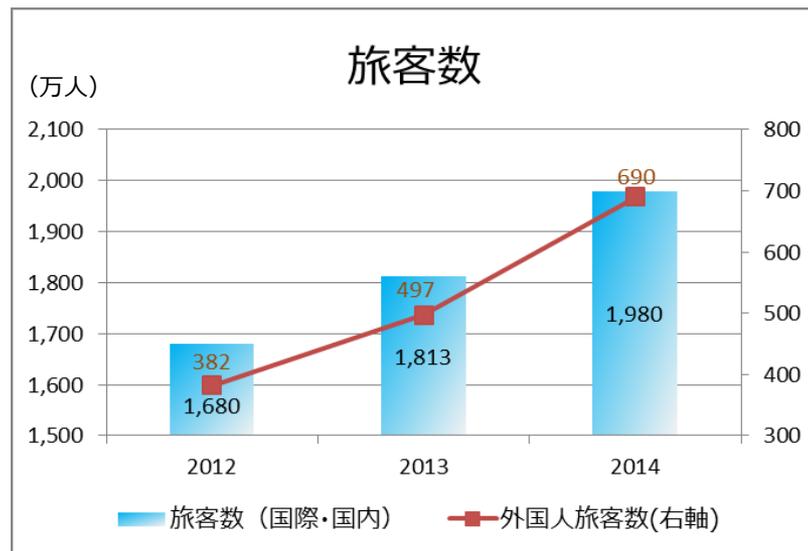
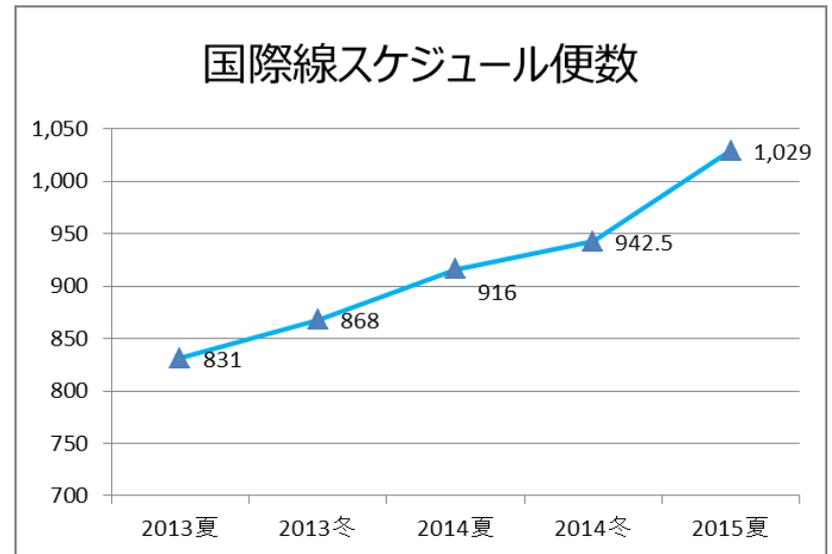
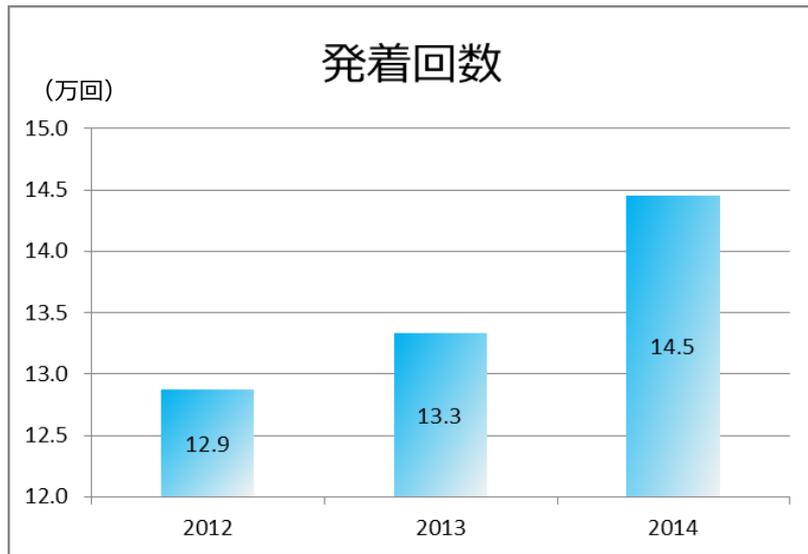


## ○ 2015年度以降の着陸料割引制度

引き続き航空会社の拠点化・需要拡大を促進するため、2015年3月に期限を迎える現行の着陸料割引制度を**2年間延長**（2015年夏スケジュール～2016年冬スケジュール）することで当社として国土交通大臣に届け出。（運営権者による事業開始後の着陸料については、運営権者の判断となります。）



## 2. 関西国際空港の運営概況等について（2012～2014年度）



**発着回数**・・・国際線は過去最高の旅客便スケジュール、国内線はLCCの新規就航や増便により、2014年度は過去最高の約14.5万回になる見込み

**旅客数**・・・アジア諸国を中心とした旺盛な訪日外国人需要に下支えされ、外国人旅客数は過去最高の約690万人、旅客数の合計は、14年ぶりに1,900万人を超える見込み

(注) 2014年度の発着回数、旅客数は推計値



### 3. 各種割引制度一覧

料金戦略	内容
国際線着陸料 310円/トン引下げ	国際線着陸料 2,300円/t → 1,990円/t (△310円)
国際線、国内線 増量割引	航空会社別、国際線、国内線別及びスケジュール別で、同期間中に増加した着陸重量について以下の割引率を適用 初年度80% 2年目50% 3年目30%
国際線、国内線 深夜早朝割引	同期間内で、1:00~5:59に着陸する国際線及び国内線の着陸重量を50%割引
関西圏ネットワーク 拡充割引	航空会社別で、関西3空港のうち関西空港のみに就航する国内路線の着陸重量を50%割引
新規 ※ KIX-ITMフェリー便割引	関西空港からの臨時便運航のための伊丹空港からのフェリー便、及び臨時便運航後の関西空港から伊丹空港へのフェリー便の着陸重量について100%割引

国際線は、2015年夏期スケジュールから2016年冬期スケジュールまで適用

国内線は、2015年4月から2017年3月まで適用

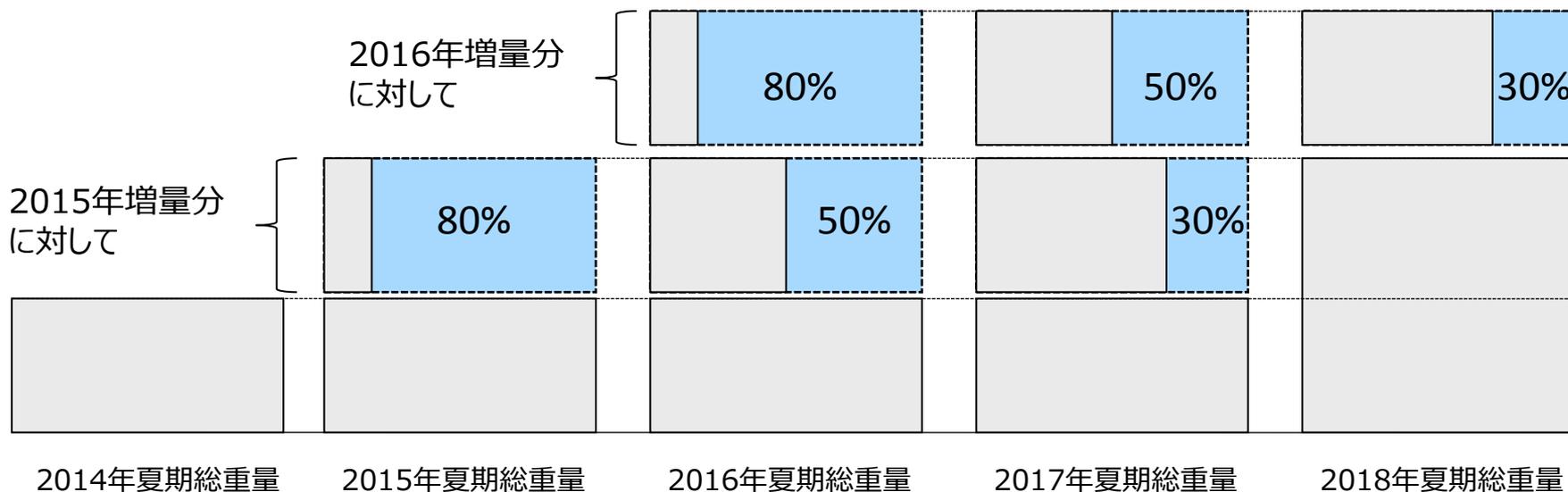
※フェリー便（空輸便）・・・機材繰りのためのフライトで、旅客又は貨物を搭載せずに運航すること



# <参考> 各種割引制度イメージ

〔国際線・国内線 増量割引イメージ〕

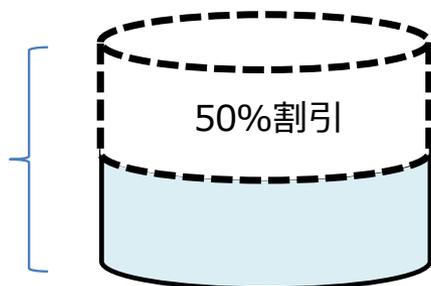
同スケジュール期間中に増加した着陸重量について以下の割合率を適用  
初年度 80% 2年目 50% 3年目 30% 割引



# <参考> 各種割引制度イメージ

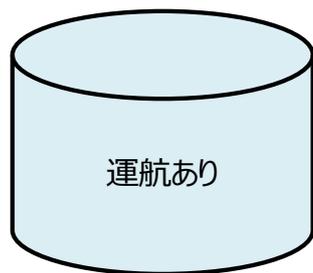
〔国際線・国内線深夜早朝割引のイメージ〕

深夜早朝時間帯  
での着陸分



同スケジュール期間内で、1:00~5:59に着陸する国際線及び国内線の着陸重量を50%割引

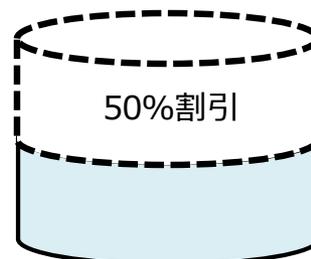
〔関西圏ネットワーク拡充割引のイメージ〕



関西空港



伊丹空港 及び 神戸空港



航空会社別で、関西3空港のうち関西空港のみに就航する国内路線の着陸重量を50%割引

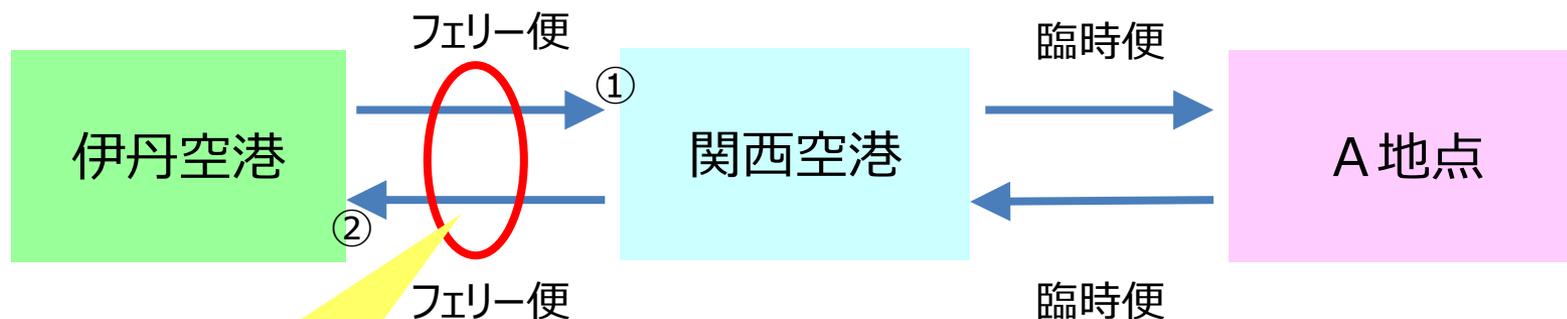


## <参考> 各種割引制度イメージ

### <当制度導入の目的>

関西空港、伊丹空港の両空港間で臨時便運航のための機材回しを促進することで、関西空港を発着する臨時便の運航を誘発し、国内線ネットワークの更なる充実を目指してまいります。

### 〔KIX-ITMフェリー便割引のイメージ〕



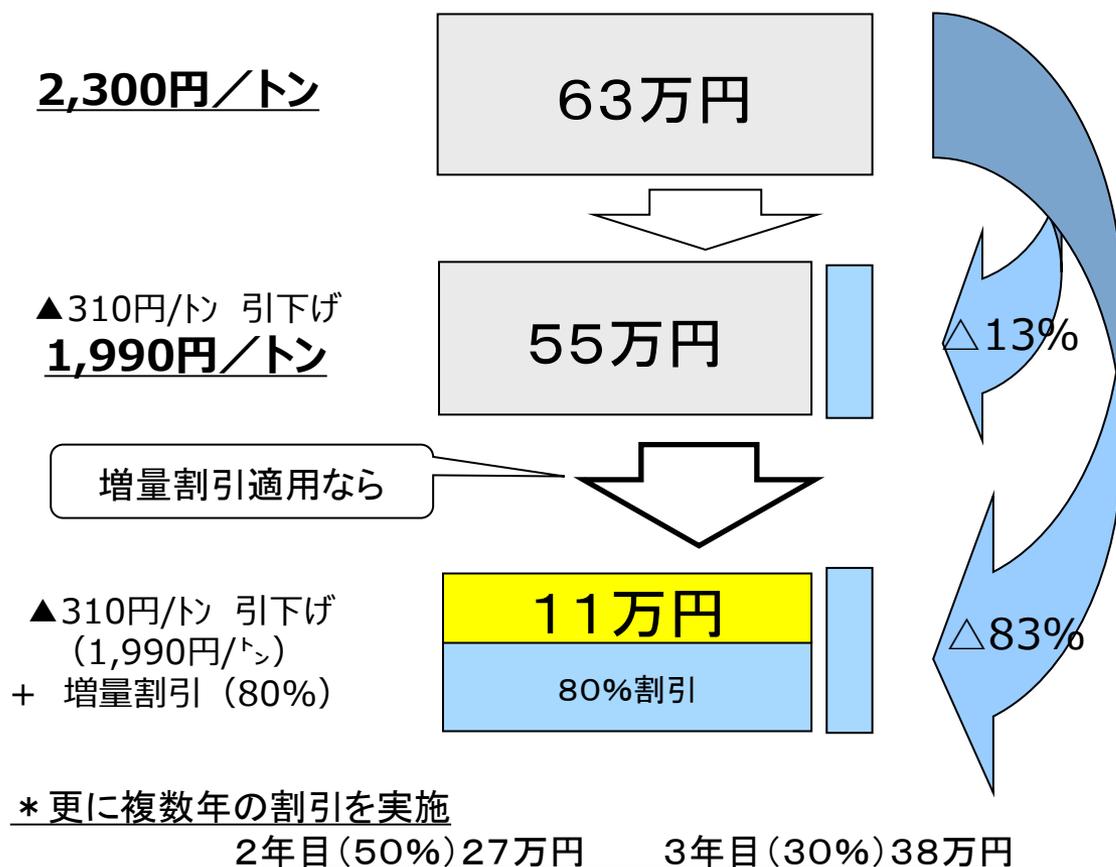
着陸料を100%割引

- ① 関西空港からの臨時便運航のための伊丹空港からのフェリー便
- ② 臨時便運航後の関西空港から伊丹空港へのフェリー便  
に対して、着陸料を100%割引



# <参考> ボーイング777-200型 (276トン) 着陸1回あたり着陸料

## 新規就航または増便の場合



### 他主要空港の料金例 (2015年3月時点)

成田国際空港 43万円  
(増量割引・ネットワーク拡充割引を  
適用の場合、1年目は 0円)

中部国際空港 46万円

仁川国際空港 (韓国)  
(換算レート 100KRW=11.08円) 27万円

香港国際空港 (香港)  
(換算レート HKD=15.89円) 29万円

チャンギ国際空港 (シンガポール)  
(換算レート SGD=88.63円) 28万円